北アルプス　小日向山　山スキー

2010 年 1 月 29 日

メンバー：菊地、志満（記）

地形図：白馬岳、雨中

二股 8：45～林道尾根取り付き 9：48～1700M 折り返し地点 13：10～林道 14：50～二股 15：10

当初の予定は、黒姫だったけど強い寒気が入り大荒れの予報だったので急遽小日向山＆白馬ゲレンデと変更となった。柳下さんは急用が入った為、日曜日のみの参加となり夜合流となる。

小日向山には思い出がある。
もう 10 年以上前になるだろうか冬合宿のトレーニングで二股から猿倉を経て小日向山頂上へアタックの予定が連日の大雪で、林道から厳しいラッセルを強いられた。私達は 4 人パーティーで他 1 パーティー合わせて 11 人が交代でラッセルしたがあまりの新雪の深さに進まず、1 時間以上前に通った電信柱がすぐそこにある状態。結局、その日は猿倉までも行けず林道でビバーク。翌日猿倉で雪上トレを軽くやって帰ってきた。そんなエピソードがあるが今回はその小日向のピークをやっと踏める事に・・・？

前日は 2 時到着で 3 時就寝だった為、寝坊するがお気楽コースなので慌てる事無く、二股へ向かう。駐車場には八方尾根からガラガラ沢へ滑走するパーティーが 2 組。このコースはリフト利用なのでかなりのラクラクコースだが下山口が違うので 2 台車がないと出来ない。機会があったら行きたいものだ。二股から発電専用道路を 1 時間くらい歩いたところで南尾根に向かって急な斜面に取り付く。雪は降り続いている割にはそれ程深くはない。キックターンを繰り返し高度を稼ぐ、今日は今シーズン初の BC、それより山自体しばらく行ってなかったので体力的に心配だったけれど、割と調子良く軽やかだ。
雪は相変わらずしんしんと降っているが風はなく穏やか。標高 1700m、緩やかに伸びる尾根の先には小日向山のピークが望める。時計は 13：10 分を指している、ピークまで1時間くらいかかるだろうか。時間的に行けなくはないが明日もあるし、今日は足慣らしという事でここから降りる事にした。またしてもピーク踏めず。。。下山路は東面も考えたけれど、見る限りでは木が密集して快適とは思えない。以前に菊地さんが東面側を滑って藪で苦労したと言っていたので登ってきた尾根を滑走する事にした。
さぁ～今日はどんな滑りを味わえるのだろうかこれから滑走というシールを剥がしているこの時がとっても心が高ぶる。激パウダーに期待するが、以外に新雪は浅くその下がしまり気味の雪だ。う～んちょっと残念だけれど、それでも楽しいのに違いはない。うひょ～！！いつもの歓声が上がる。
1100mくらいで西側の沢に下りて林道に合流。林道は下りとなるので直滑降で一気に降りた。15：10 着。朝から降り続いていた雪で、菊地カーはまんまる雪だるま状態であった。

次回こそは白馬三山東面の展望台としては第一級の素晴らしさという小日向山のピークを踏み北斜面を猿倉大地へと滑り込んでみたい。